

ニュースリリース

Sapporo Concert Hall Kitara
札幌コンサートホール



Kitara 初の日系オルガニスト 赤枝 サンテソン 留果が就任 第26代 Kitara 専属オルガニスト市長表敬訪問

札幌コンサートホール Kitara では、オープン翌年の 1998 年から毎年、大ホールに設置されたパイプオルガン(アルフレッド・ケルン社製)の製作地であるフランスでオルガンを学んだ演奏家を専属オルガニストとして招聘しております。

このたび、第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト、赤枝 サンテソン 留果が札幌市長に着任のご挨拶をいたします。任期は2025年9月1日から2026年8月31日までの予定で、当ホールや国内各地でコンサートを行うほか教育活動にも携わるなど、オルガン音楽の魅力を紹介します。

表敬者: 赤枝 サンテソン 留果 【第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト】

日 程: 2025年 9月11日(木) 11:30 - 11:50

場 所: 札幌市役所 10階 市長応接室



＜プロフィール＞

赤枝サンテソン留果 Luca Akaeda-Santesson

2001年イタリアのミラノ生まれ。幼少より音楽に興味を持ち、パリ17区クロード・ドビュッシー音楽院にてジャン＝フランソワ・アトンのオルガンクラスで音楽の道を歩み始める。リヨン国立地方音楽院にてリオネル・アヴォ、イヴ・ラファルグに、リヨン国立高等音楽院にてフランソワ・エスピナス、リズベズ・シュルンベルジェに師事し学士号と修士号を取得。現在はハンブルク音楽演劇大学の国家演奏家資格課程にてピーター・ファン・ダイクに師事している。

2022年ジャン＝ルイ・フロレンツ国際オルガンコンクールではグランプリ及び聴衆賞、第2回オリヴィエ・メシアン国際コンクールでは第2位及びメシアン作品最優秀演奏賞を受賞。23年オランダのアルクマールで開催された第15回シュニットガー国際オルガンコンクールにて優勝し、24年のECHO(European Cities of Historical Organs)の若手オルガニスト・オブ・ザ・イヤーにも選出された。

2025年9月より第26代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任予定。

＜株式会社東洋実業 presents＞

第26代札幌コンサートホール専属オルガニスト

赤枝 サンテソン 留果 デビューリサイタル

日時/2025年10月11日(土) 13:15開場 14:00開演(15:30終演予定)

会場/札幌コンサートホール Kitara 大ホール

料金/全席指定(税込) 一般: 1,000円 U25: 500円

プログラム: J.S.バッハ: 前奏曲とフーガ 二長調 BWV532

メンデルスゾーン: オルガン・ソナタ 第3番 イ長調 作品65-3

アラン: 組曲 AWW86 ほか

●担当・お問い合わせ

(公財)札幌市芸術文化財団 コンサートホール事業部 管理課 業務係 石田、大石
〒064-8649 札幌市中央区中島公園 1-15 TEL 011-520-2000 FAX 011-520-1575